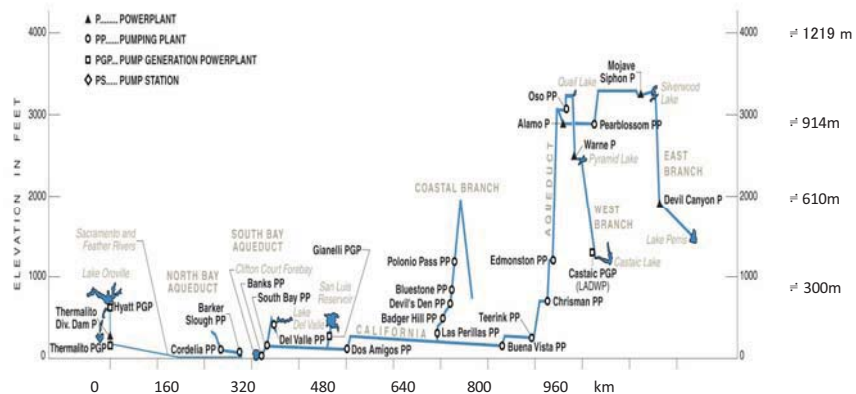


## 政府の役割⑤ 外部性の是正

1991水銀行の問題点	是正策(制度変化)
水の売り手地域の経済疲弊	休作面積の制限
地下水の過剰汲み上げ	モニタリング強化
既存の水利権の侵害	売買可能な水の定義の明確化
生態系への配慮	政府による直接的な水購入
密室取引との批判	手紙・電話→雑誌→インターネットを活用した取引の募集

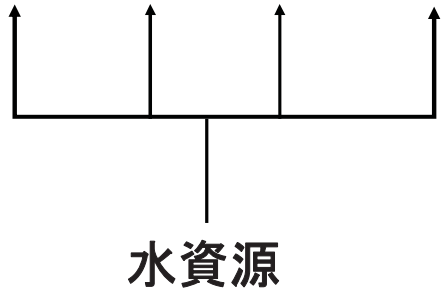
19



・デルタ～ペリス湖=730km →豊川～対馬=740km ・本宮山:848m

# 水銀行と環境流量

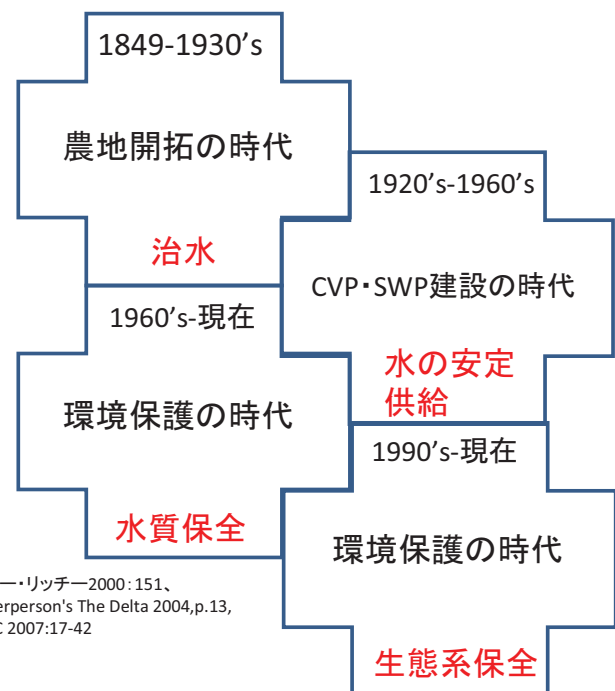
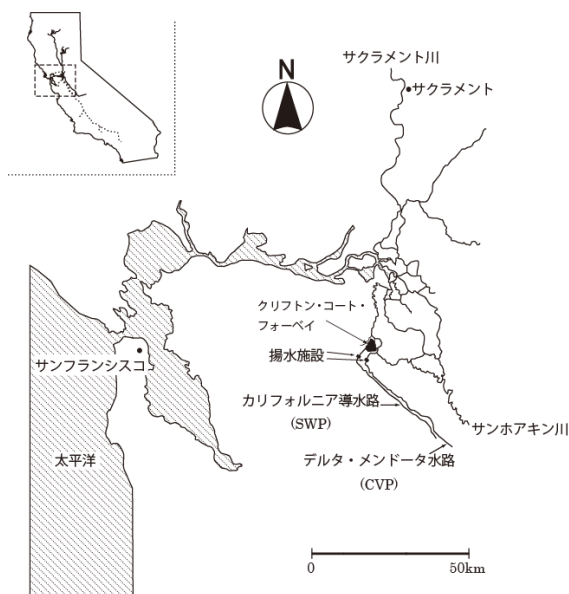
農業 工業 生活 環境



Adapted from Du Pont PERMASEP Permeators

## 渇水時に生態系向けの水配分をどう確保するか？

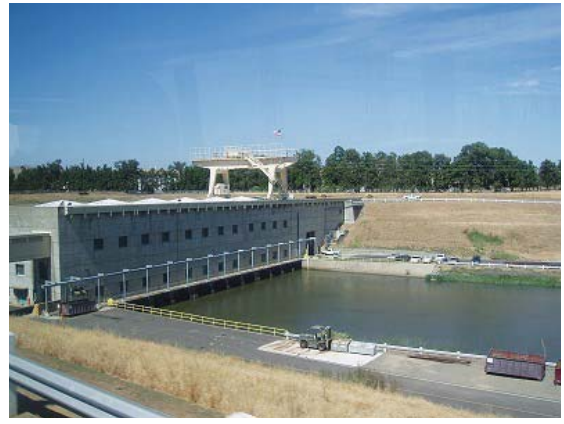
# デルタ問題



スノー・リッチー2000: 151、  
Layperson's The Delta 2004,p.13、  
PPIC 2007:17-42

## デルタ南部の利水者 vs 生態系保全

# デルタ



## 色々な政策手段

1. 最低流量の確保: 河川維持用水
2. 行政による保護: 水利権許認可条件の操作
3. 流水水利権 (instream-flow water right) の創出
4. 水利転用
5. 節水
6. 貯水池操作
7. 裁判

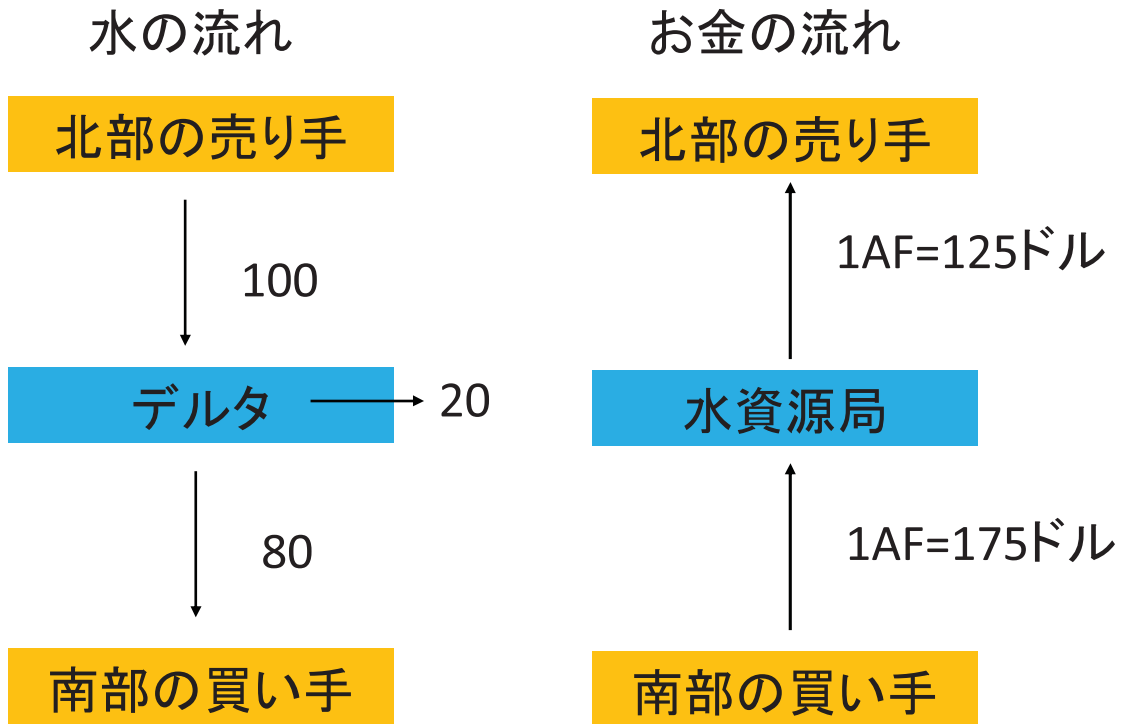
(Gillian and Brown 1997, Katz 2006)



## 水銀行で採用された政策手段

1. 絶滅危惧種法: Regulatory drought
2. 政府による買い取り: 公共財供給
3. 買い手負担

# 水銀行における環境流量確保のしくみ



Outline

1. カリフォルニア州の水問題

2. 水銀行

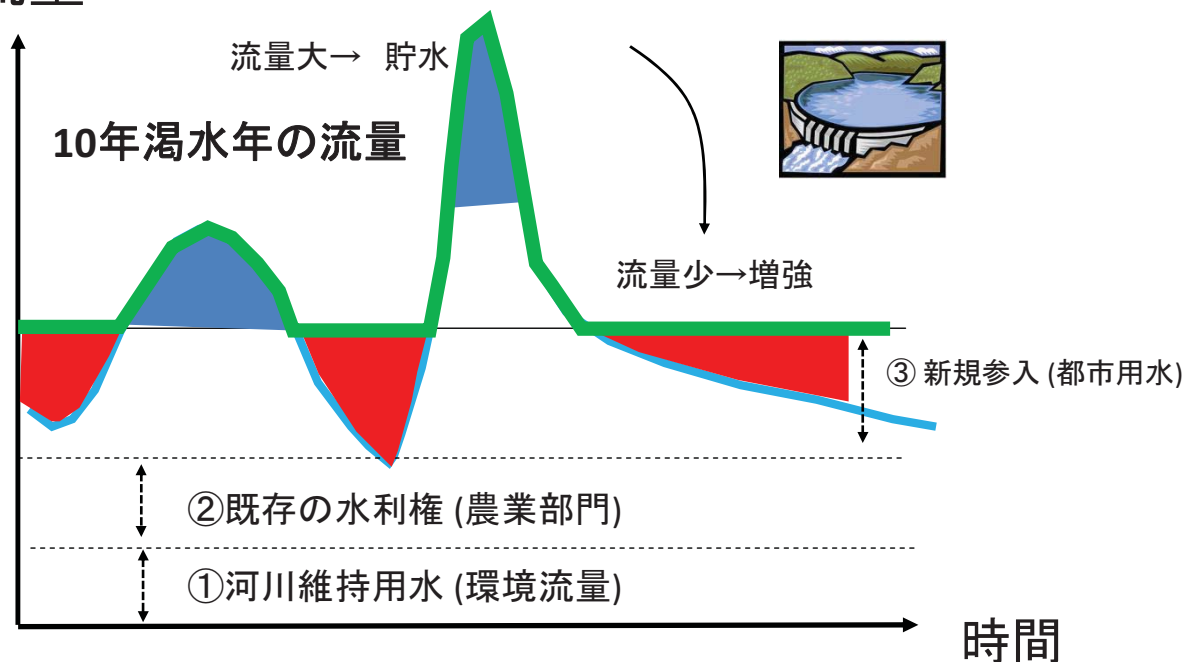
3. 環境保護

4. 日本との比較

5. まとめ

## 4. 日本との比較

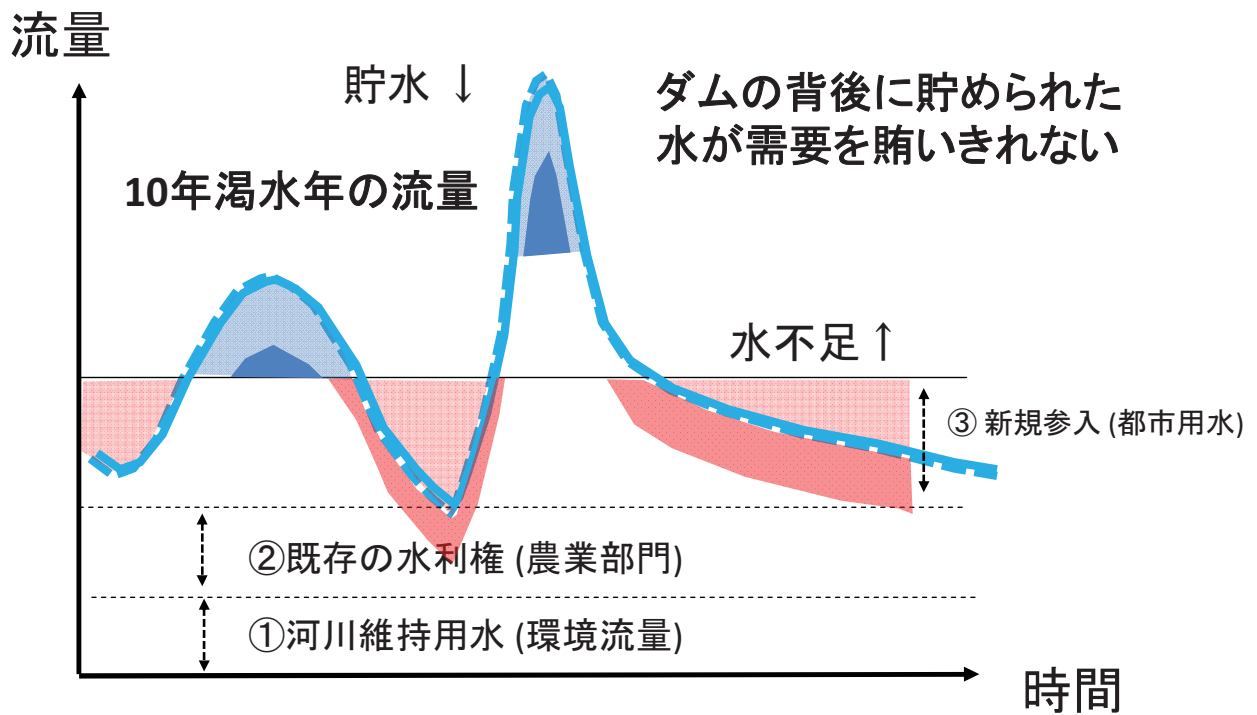
流量



農業部門: 自流に依存

工業・生活用水部門: ダム貯水に依存

## 異常渇水時の配分：渇水調整



古田優先→水利権者同士の交渉による配分

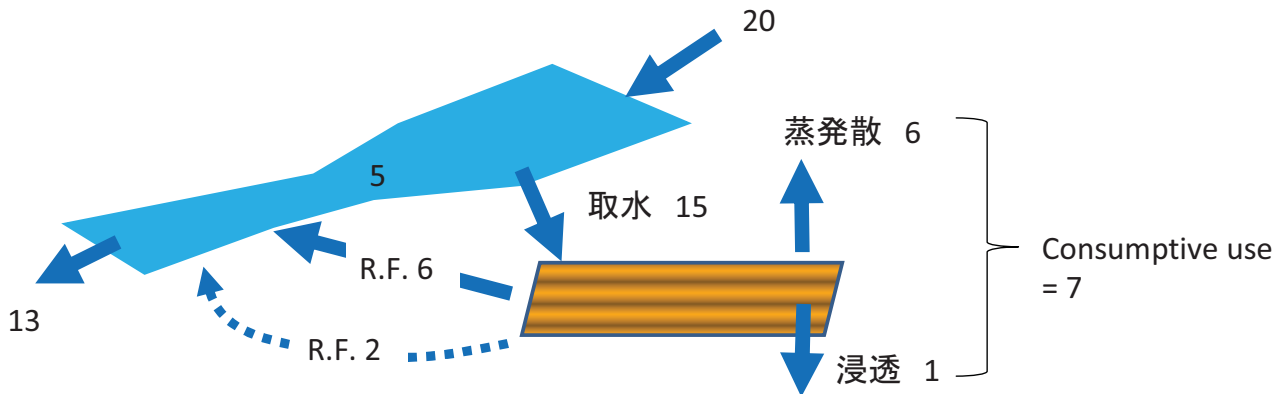
(ダムのパンクを避けるためいかに節水するか?)

## 水銀行と渇水調整のちがい

1. 有償取引の有無
2. 水銀行＝水の価値を広く知らしめる仕組み
3. 節水→転用という複合的な政策
4. 政府の役割：日本の場合は水利権者同士の交渉に委ねられる場面が多い

## 導入にあたっての注意点

1. インフラの存在
2. 「転用可能な水」の定義
3. 地下水の取り扱い



Outline

1. カリフォルニア州の水問題

2. 水銀行

3. 環境保護

4. 日本との比較

5. まとめ

## 5. まとめ

1. 水銀行とは何か？  
→ 効率的な水の再配分を進めることで、渇水被害の更なる拡大を防ぐ制度
2. 水銀行の問題点は？  
→ 水取引に外部不経済が伴う恐れがあること
3. 水銀行における政府の役割とは？  
→ 水取引を促進させる法整備 + 水取引に伴う外部不経済の是正

ご清聴ありがとうございました

